



みんなの問題であるという視点が、すごくわかりやすかったです。感情論だけで解決しないですよ。野良猫5匹手術をしてTNRをしました。まだまだこれからの問題なんだと思います。(男性 50代 友人から)

子供時代、家猫と一緒に育ったので、中央図書館前で気になり参加しました。地域で取り組むことができる時代「人と動物が共に豊かに暮らせる町づくりができる時代」という視点を確認でき、とてもありがとうございました。(男性 60代 友人から)

猫の日常が淡々とかかれていて引き込まれました。悲しいノラ猫の映像が出てきたらどうしようと心配でしたが、微笑ましい場面が多くて楽しく観ることができました。小さなお子さんからも歓心を持ってもらえる内容だと思います。猫の保護活動のすそ野が広がっていきますように。(女性 40代 杉並区伝言板)

地域猫活動のボランティアをしている者です。今までこのような映画はなかったので、本当にたくさんの方にみていただきたいと思いました。理解のない方、知らない方にどう伝えていくか？ がいつも課題になっていたのも…。作っていただき嬉しいです。ありがとうございました。(女性 50代 ねりまねこさんの立川後援会で)

普通のかわいいネコではなく、真剣にネコの命をまもる強い気持ち、可愛いから飛び出しているところが大変意味があると思いました。監督さんのすばらしさと、私と同じにネコが外にとび出たところが、ほっといたしました。(女性 60代 動物相談員から)

自宅(生まれ育った場所)が、旧荻窪街道(現環八)に面していて、悲しい場面、特に世田谷のセンター(愛護センターに改名)に連れて行かれる車の母犬であろう子がずっと追いかけて行くのを見たときにはいたたまれませんでした。常日頃思う事、それはこの世に生を受けた全ての生き物が、せめて死に至る時には、この世に生を受け、生まれてきて良かったと思いながら死にのぞんでほしい。私も含めてそんな地球になってほしい。(女性 60代 知人から)

10年近く、ノラちゃんの減少に(避妊など)加わってきました。近辺のトラブルなどもありましたが、少しはノラちゃんのために幸せな時をすごさせてあげたかと思います。今はほとんど子猫もお見られなくなり、今からは猫も貴重な存在になるかも。(60代 NPO 法人ゴールゼロ会員の方のチラシから)

ねこが好きな人はねこに関しての情報に敏感ですが、ねこに関心がない人にも興味を持つきっかけになる映画になっていると思います。ねこに興味がない人にたくさんみてもらいたかったです。

私も4年前まではねこに興味がない人でした。きっかけは人なつこい野良ねこを飼ってからです。(女性 40代 ねりまねこから)

誰にでもありえる身近な問題をユーモアを交えて伝え、猫好きでない人たちにも観てもらえるのではないのでしょうか。一人でも多くの方、政治家にも観てもらいたいです。(女性 40代 友人から)

すばらしかったです！

我が家にも個人でTNR活動をされている方からゆずり受けた2匹の「さくら猫」がいます。その方の活動から、地域猫やボランティアさんの活動について知りました。この映画を通して、今の現状を更を知る事が出来、自分にも何か出来る事があるのでは・・・と考えさせられました。今日は、本当に来て良かったです！（50代 友人から）

これから練馬区の登録ボランティアとして活動していくので、地域とのコミュニケーションなど、とてもわかりやすく来て良かったです。

地域、行政などひとりではなくみんなと協力していかなくてはいけないことで、又、地域に理解してもらうことの大切さなど、猫を好きな人だけでなく、全ての人にみてもらいたいです。（女性 50代 ねりまねこから）

ボランティアをする上でとても勉強になりました。これからも猫に関わっていきたいと思います。ありがとうございました。（女性 30代 知人から）

初めて見せていただきました。日本とちがって外国はすべて広々して良いです。1日も早くゴール0にしたいです（女性 80代 太田先生から）

こうした活動があるということがわかりやすく心に残る映画でした。各都市、地区の援護団体とかを通じてもっと広めてほしいですね。例えば、wowowのドキュメンタリー枠で、泉監督含めた番組とかも提案してみたらどうでしょう？チラシもネコ関連のショップとか、ガンガン協力してくれると思います。（男性 50代 知人から）

いろいろ考えるきっかけになりました。現在私本人の体調が思わしくなく、フルタイムのボランティアはしたくてもできない。しかし、ドイツのケースを見て、スポンサーシップのような関わり方もできるといいです。映画そのものは時に重く暗くなりがちな問題も、明るく前向きなタッチで表現しているのがとてもいいと思います。ただ一つだけ欲を言えば、ドキュメンタリーでももう少し光か構図の扱いがきれいでもいいかなと思います。内容的にはリサーチもしっかりしていて、とても素晴らしいものでした。見れて良かったです。ありがとうございました。

（女性 40代 トリマーさんの店の外側にはってあったポスターで）

監督の個人的な体験から出発し、地域猫活動取材し、さらに米・独のボランティアや施設を紹介するなど、広くグローバルな視点でネコ問題をとらえていて、素晴らしい映画でした。（女性 40代 友人から）

外猫のT、N、Rに特化した映画ができたことうれしく思います。世界各地で手法は少し異なるけれど、目ざすゴールは同じだと感じています。 ちゃま坊(男性 50代 FB 墨田さん ねりまねこ)

予想外に大変良い映画でした。(泣かないで済んだので…。)子供さん、老人にも気持ちよくみられることと思います。練馬猫さん等、ブログはよく見えています。猫バカ日誌の方もよく見えています。(女性 60代 高円寺の歯科医院 ブログで)客観的にとらえておりドキュメンタリーとしてもおもしろかった(女性 60代 ねりまねこブログから)

大変勉強になりました。特に普通の人々がノラ猫問題を少しでも解消しようと立ち上がって行動していることに感命を受けました。まだ視点をグローバルに変えても見る事ができたのも良かったです。少しずつノラの問題は前進しているのだと思いましたし自分も行動できると思いました。(女性 30代 ねりまねこブログ)

客観的ですが、猫のかわいい部分もよくわかり、とてもいい映画でした。(女性 40代 杉並動物推進員)

きちんと中立の立場で対処してもらうため、まず保健所などの職員の方に見ていただきたい。

子供や本当に多くの方に、子供の教育としても必要です。我が家の18匹、外の20匹とがんばっていますが、根本を見直す機会になりました。(女性 50代 ねりまねこから)

悲惨な野良猫ばかりが出てくる映画なのではと覚悟していたのですが、冒頭の監督さんの猫たちの登場にホッとしました。国内外で活躍されている方々の話で、抱えている問題は世界共通なのだと知りました。

私は猫を飼い始めて日は浅く、まだまだ知らないことばかりですが、これからいろんなことを知り、何か猫たちのためになる活動ができるようになるといいと思います。この映画が日本全国、できれば海外へ広がるといいなと願っております。(女性 40代 ねりまねこから)

この映画は、大人も子供も、猫好きも、嫌いな人も、たくさんの人に観てもらうべきだと思います。

監督さんの家の猫ちゃん、かわいかったです。ねりまねこさんのブログを見てなかったら知らなかったです。ありがとうございます。(女性 30代 ねりまねこから)

とても素晴らしかったです。一匹しか飼っていませんが、外猫は5匹。複数飼ってみたいくなりました。猫の魅力と楽しさを充分味わいました。(女性 70代 チラシから)

私も8年前に2匹の里親になり、それから外猫の生活が気になり、餌やりから始まり、保護活動～現在は里親募集を個人で行っております。監督の気持ちの移っていくお話を聞き、一緒と同感しました。とてもよかったです。(60代 友人から)

とてもリアルでたんたんとした、でも説得力のある素敵な映画でした。私は住所が杉並区、実家が川越で、ねこかつさんのブログも見、カフェにもよく行っている関係で、今日来させていただきました。

25年前に高円寺で、19匹の猫が置き去られていた現場で、全くの個人で周囲に呼びかけ、今でいうTNRをし、子猫2匹を引取って育てました。今年1月にその最後の子が25才でなくなり、日々、何かに急かされるように保護猫ブログを見ている。今後、地域で何かできたらと思います。(女性 50代 ねりまねこから)

地域問題がリアルに映されていて知らないことがいくつもありました。ボランティアとして何かができるといいのですが、現在まだ手探り状態です。現在は一人暮らしで、3匹の猫と暮らしています。もちろん、訳ありの子たちです。こういった子のために、これから何が出来るかを、今日は真剣に考える日になりました。ありがとうございます。(女性 40代 ねりまねこから)

普段は見られない病院の手術風景や、ボランティアさんの地道な活動が見られて大変参考になりました。(男性 30代 ゴールゼロから)

半年くらい前から猫2匹(恋人が飼っている猫)と暮らし始めました。今まで猫をただかわいいと思っていたのですが、一緒に暮らし始めて、野良猫のことなども考えるようになり、そんな時にこのような映画に出会えとても良かったです。自分もできることから始めたいと思います。口コミでこの映画がどんどん広まっていけばいいなと思います。(男性 30代 恋人から)

まず題名がNice!! まさにその通り、みんな生きているんですね!!

私は犬を2匹飼っています。阿佐谷にも地域猫(のら)がいます。近所の団地では、餌やりをしている人も・・・

正しい知識と活動が広がる事が大切だと改めて感じました。(友人から)

とても素晴らしい映画ですね。今日は本当に来て良かったです。今まで知らないことばかりで、日本だけでなく、オレゴンやベ

ルリンの事情も知ることが出来ました。目からウロコです。昨年、野良出身の猫が12歳で亡くなったばかりで、その傷がまだ癒えておりませんが、今後縁があれば、また猫と暮らしたいですし、(現在はアパート暮らしなのでできませんが…)地域猫の活動、殺処分0のために、できることをしていきたいです。お役に立てることがあれば幸いです。(女性 40代 友人から)

愛護関係のドキュメンタリーはいろいろ観ていますが、どれも過酷な現状を映し出していて、覚悟がないと観られないものが多い中、この映画は辛いシーンがなく、免疫のない人や子供でも安心して観ることができると思いました。でも、きちんと大切な問題はおさえてあるので、ぜひもっと多くの方(特に小さい子供、親子)に観ていただきたいです。とても良い映画でした。(女性 30代 FBから)

猫好きな方が制作されたとはいえ、フラットな目線で、客観的なレポートと感じました。監督のハキハキしたナレーションがとてもよかったです！東中野在住ですので、ポレポレ座での上映も宣伝しますね！！(女性 50代 ゴールゼロから)

とってもよかったです。勉強になりました。学校などで上映されるとよさそうですね。ゴールゼロさんの活動も素晴らしいと思いました。これからも頑張ってください。応援しています。(女性 30代 ねりまねこから)

私はねりまねこさんの活動を話で聞いていて、大きくなったらねりまねこさんみたいな、猫を助ける人になりたいと思いました。でも、この映画を見たらもっとなりたいたいと、興味があり、すごいなあと思いました。(女性 10代 ねりまねこから)

動物病院の先生自らが、殺処分0を目指してNPO法人を立ち上げる活動をしている事に心から感動、感謝しています。私がH18.2月に生後半年くらいのメス(野良)猫の手術をした時費用が35,000円かかりました。(役所に補助金の確認したが「ない」と言われたので…)。殺処分なくなったら良いと思っている獣医師はいても、自分の病院の料金は安くしたくないというのが、本音なんだろうなと思っていましたので、齋藤先生、太田先生に出会えて本当に感謝しています。若いのに素晴らしい。他の動物病院の先生も見習って欲しいですね。(女性 40代 動物推進員から、ねりまねこから)

対策も紹介されていて、自分のような、猫を飼った事のない人間にもとてもわかり易かった。早速、ドキュメント好きや、猫飼いの友人にお勧めします。自主上映が多いので勧め易いです。中野で上映する時も、また見に行こうかと思いました。(女性 30代 里親で3匹ひきとった友人から)

自宅の庭で、野良猫家族にえさやりをした事がありますが、ご近所から「糞尿」の苦情が出てやめてしまいました。この映画の様に、地域ぐるみで獣医さんやボランティアが協力して、一代限りの命を大切にしていなければならない事を知り、自分でも何かしていきたいと思えました。(女性 40代 ねりまねこから)

試写から3回目ですが、拝見する度に発見があり、普通に皆さんに観ていただきたい気持ちが深まります。立川で5月31日にさせていただくごあいさつをどのように上映会をされているか、初めてのことで、お勉強のために来させて頂きました。小・中学校にポスターとチラシを配布し、校長に地域やPTAからお話して頂き、図書館・会報・自治体を通じてのちらし配布。又、協力していただいている、動物病院等にもちらしを置かせて頂いております。私自身、猫の被害者宅として町会の地域猫活動に参加、立川市地域猫登録団体連絡会の企画運営・広報として、この度、参加させて頂いております。地域猫の先生方のご指導で、行政・地域・ボランティア一体で、住み良いまちづくりのため、タイムリーなこの映画に出会えて感謝しております。どうぞ、今後共、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。加藤ひとみ(女性 40代 泉監督のブログから)

何か私にも出来る事があるのではないかと、日々思っているけど何もできないまま日々過ぎていました。人とコミュニケーションをとる事が大切だなと思いました。ありがとうございました。勇気を出して来て良かったです。(女性 40代 ねりまねこ)

先進国では同じ猫問題を抱えている事がわかりました。発展途上国での現状を知りたいです。(男性 20代 facebook から)

エビちゃんが可愛かったです。猫に人生捧げたいです。アメリカも同様なんだと知りました。FCCO に行ってみたいです。いつか行きたいです。(女性 20代 facebook)

ボランティアさんの活動内容が良く分かり、本当によかったです。亀山さんのお宅で娘がお話を伺って、将来、ボランティアをしたいと行っているの、娘と観る事が出来て良かったです。日本だけでなく、海外でも同じ問題がある事も知る事が出来ました。同じ想いをして猫を助けたいという力が、もっと広く広がっていくと良いと思います！(女性 30代 ねりまねこ、亀山さんのFB)

幼い頃から猫や鳥を飼っていましたが、5年前、調布市で主に地域猫活動をされている方から猫を一匹譲り受けた事をきっかけに、殺処分の事実を知りました。以来、それについての本や映画を見聞きしているのですが、今回の映画ほど、自分の腑に落ちるものは初めてでした。特に地域猫への取り組みに関しては、改めてその重要性を理解できましたし、又、改めて殺処分や捨て猫の問題は”一人では出来ない”と感じました。家に居るキジトラ猫のコウタロウをこれまで通り大切にしつつ、これから自分が出来る事やるべき事を長期的に考え行動に移せたらたらと強く思います。(女性 30代 NPO 法人ゴールゼロブログ)

留学や仕事で杉並区を離れていたのですが、今年の春に杉並に戻って来て、犬や猫のために何か出来たらと思い、この映画を観に来ました。平日はフルタイムで働いているのですが、自分のできることをできるグループ等をみつけて、活動してみたいと思います。(女性 30代 ドッグベリーカフェのチラシ)

明るいタッチでよかったですと思います。一般の人に、人のことではなく考えてもらうためには、もう少し暗い面も取り上げてよかったですのではとも感じました。(女性 40代 友人から)

川崎市にて個人レベルの保護活動をしています。2002年から今年で12年になります。東京の活動に比べ、川崎市では地域猫の行政の理解が少なく、今後自分で何が出来るかを考えています。もしも叶うなら、川崎でもこの映画の上映をしてほしいです。(フェイスブックから)

自然体で、猫好きだけじゃなくても、小さな命に対するメッセージが強く、分かりやすい内容で、じわりじわりと感動し涙が止まりませんでした。もっともっと一般公開してほしいと思います(女性 40代 ねりまねこブログ)

猫が好きで、飼い猫ではない猫に関心を持っていたので見にきました。作成した経緯も知り共感したのと同時に、TNRの必要性が分かりやすい映画かと思いました。中に出ていた、最初の始まりは猫が好きだということから徐々に多くの猫に携わっていく過程が描かれていましたが、そんな普通なことが出発点だったのか、と意外に思いました。(女性 40代 ねりまねこ)

我が家の猫は里親制度で出会った猫です。映画を観て共通する部分、共感できる部分が大変多かったので興味深く観ることができました。日本、アメリカ、ドイツの国による違いが分かり勉強になりました。猫の性格も人間と同様、様々なのですね。これからも動物との共生、共存を大切にしていきたいと思います(女性 50代 会員の紹介)

でもよかったです!!うちにも元ノラニャンコが3匹います。もうシニアですが、終生大切にしたいと改めて思いました。映画宣伝します!!監督さん、頑張ってください。モコ先生も応援してます(とてもチャームングですね)(女性 50代 杉並どうぶつ推進員)